

森林・林業と生活に関するアンケート調査

アンケート実施期間 令和3年8月13日 ~ 令和3年8月22日
 回答者数 148名 (登録者数 494名 うち配信成功数 442名)

●性別

男性	93	62.8%
女性	55	37.2%
計	148	

●年齢

20代以下	1	0.7%
30代	5	3.4%
40代	26	17.6%
50代	42	28.4%
60代	27	18.2%
70代以上	47	31.8%
計	148	

Q1 森林に親しみを感じますか。

非常に親しみを感じる	57	38.51%
ある程度親しみを感じる	74	50.00%
あまり親しみを感じない	14	9.46%
ほとんど親しみを感じない	2	1.35%
分からない	1	0.68%
計	148	

Q2 市内の森林の約60%がスギやヒノキなどで人為的につくられた人工林であることを知っていますか。

知っている	42	28.38%
知らない	106	71.62%
計	148	

Q3 森林のどのような働きを期待しますか。(3つまで)

住宅用建材や家具、紙などの原材料となる木材を生産する働き	34	7.93%
きのこや山菜などの林産物を生産する働き	12	2.80%
雨水を土壌に蓄える働き	96	22.38%
山崩れや洪水などの災害を防止する働き	93	21.68%
空気をきれいにしたり、騒音をやわらげる働き	31	7.23%
二酸化炭素を吸収することにより、地球温暖化に貢献する働き	76	17.72%
心身の癒しや安らぎの場を提供する働き	40	9.32%
自然に親しみ、森林と人との関わりを学ぶなどの教育の場としての働き	14	3.26%
貴重な野生動植物の生息の場としての働き	32	7.46%
特になし	0	0.00%
分からない	0	0.00%
その他	1	0.23%
計	429	

Q4 Q3で示したような働きを高めるためには、間伐などの手入れが必要なことを知っていますか

知っている	140	94.59%
知らない	8	5.41%
計	148	

Q5 森林の所有者にどんなことを期待しますか。(3つまで)

所有する森林を整備する	116	37.42%
所有する森林を、学校教育の場として活用する	32	10.32%
所有する森林を、環境教育の場として活用する	77	24.84%
所有する森林を、キャンプ場やピクニックなど森林を活かした活動の場として利用する	56	18.06%
所有する森林を、農地として活用する	3	0.97%
所有する森林を、商業施設や遊園地などの森林を活かさない施設や空間へ転用する	5	1.61%
特になし	5	1.61%

分からない	6	1.94%
その他	10	3.23%
計	310	

Q6 今後、森林の整備は、どのように整備すべきだと思いますか。

森林所有者に対して、適切に森林整備を行うことを義務づける	23	15.54%
森林所有者が、自らの責任において整備を行うように行政が指導する	14	9.46%
森林組合、NPO、ボランティア団体などの意欲のある者が森林所有者に代わって整備する	57	38.51%
森林所有者に対して、補助金を交付するなどの支援をすることにより整備を促す	41	27.70%
森林所有者の判断に委ねる	3	2.03%
特に整備を行う必要はない	0	0.00%
分からない	4	2.70%
その他	6	4.05%
計	148	

Q7 居住地近くに広がる里山林や都市近郊林について、どのような役割を期待しますか。（複数回答可）

木材やきのこの生産などをする林業的な役割	34	9.55%
地域の住民が活用できる身近な自然としての役割	69	19.38%
子どもたちが自然を体験する場としての役割	83	23.31%
野生動物と人間の生活の場の境界線としての役割	71	19.94%
人々の心を和ませてくれる景観を保全・整備する役割	85	23.88%
宅地や農地などといった他の用途への開発	3	0.84%
特に、役割を期待しない	5	1.40%
分からない	4	1.12%
その他	2	0.56%
計	356	

Q8 森林の整備・保全や森林空間の利用に対して、まず、どんなことからであれば、行動できますか。

森林の整備・保全のためのボランティア活動	52	35.14%
森林の整備・保全のための寄付金行為	19	12.84%
森林空間の活用に向けた企画や運営	22	14.86%
森林空間活用のための寄付金行為	7	4.73%
分からない	17	11.49%
特にない	25	16.89%
その他	6	4.05%
計	148	

Q9 次代に森林を残すためにどのような形での森林づくりのボランティア活動なら参加したいと思いますか。

森林づくりのボランティア活動を実施している団体の活動に参加	33	22.30%
職場や県・市町村などが呼びかけている森林づくりのイベントに参加	61	41.22%
団体への加入などは行わず、自分たちだけで独自に活動	5	3.38%
参加したくない	15	10.14%
分からない	31	20.95%
その他	3	2.03%
計	148	

Q10 ここ1年くらいの間主にどのような目的をもって、山や森へ行きましたか。（複数回答可）

すぐれた景観や風景を楽しむため	57	22.18%
キャンプやピクニックなどを楽しむため	23	8.95%
登山やスキーなどのスポーツを楽しむため	22	8.56%
釣りや山菜採りなどを楽しむため	9	3.50%
動植物などを観察するため	16	6.23%
森林浴により心身の気分転換をするため	40	15.56%
何となく自然の中でのんびりするため	35	13.62%
下草刈りなどの森林づくりのボランティア活動を行うため	4	1.56%
行っていない	46	17.90%

その他	5	1.95%
計	257	

Q 1 1 森林や農山村でどのようなことをして過ごしてみたいと思いますか。(複数回答可)

森や湖、農山村の家並みなどの魅力的な景観を楽しむ	59	15.95%
野鳥観察や溪流釣りなどの自然とのふれあい体験をする	45	12.16%
森林浴により気分転換する	87	23.51%
療養などを目的にのんびり過ごす	27	7.30%
森林の手入れをする体験や、木の実や葉を使った工作、木工などの体験をする	24	6.49%
きのこ狩りや山菜採りをする	27	7.30%
和紙づくり、郷土食などの地域の伝統的な文化を体験する	17	4.59%
子どもを自然体験ができる行事に参加させる	27	7.30%
史跡・名勝を訪ねたり、特産品を購入する	41	11.08%
過ごしてみたいと思わない	8	2.16%
分からない	4	1.08%
その他	4	1.08%
計	370	

Q 1 2 今後、木材利用でどのような利用形態が増えると望ましいと思いますか。(複数回答可)

住宅の構造材	82	16.73%
住宅の内装材や外装材	83	16.94%
住宅の家具	71	14.49%
住宅以外の建築物の構造材	41	8.37%
住宅以外の建築物の内装材や外装材	36	7.35%
住宅以外の建築物の家具	31	6.33%
製紙用	21	4.29%
ガードレールや遮音器などの工作物の資材	25	5.10%
文房具、食器、雑貨などの日用品の原材料	46	9.39%
暖房用のボイラーやストーブなどに用いる燃料	32	6.53%
特にない	6	1.22%
分からない	12	2.45%
その他	4	0.82%
計	490	

Q 1 3 地元材を利用した製品(住宅、柱、家具、木工製品、紙製品など)を利用してみたいと思いますか。

すでに利用している	11	7.43%
ぜひ使ってみたい	17	11.49%
品質が良ければ使ってみたい	49	33.11%
価格が安ければ使ってみたい	43	29.05%
デザインが良ければ使ってみたい	11	7.43%
使いたくない	2	1.35%
分からない	11	7.43%
その他	4	2.70%
計	148	

Q 1 4 公共の施設や設備に木材を利用する場合、どのような施設等が望ましいと思いますか。(複数回答可)

小学校や中学校の校舎などの学校施設	100	22.94%
病院などの医療機関や老人ホームなどの福祉施設	81	18.58%
スポーツ施設や図書館などの社会教育施設	74	16.97%
駅などの公共交通機関施設や電車などの公共機関の内装	67	15.37%
幼稚園などや公園にあるすべり台などの遊具	53	12.16%
花壇、柵やガードレールなどの道路沿いにある設備	50	11.47%
特にない	4	0.92%
分からない	4	0.92%
その他	3	0.69%
計	436	

Q 1 5 地球温暖化防止対策として、誰が主体となって森林整備を進めるべきだと思いますか。(複数回答可)

森林所有者自らの取り組みを主体に森林整備を進める	39	17.33%
--------------------------	----	--------

国際的な約束で森林整備を進めることとしているため、国や地方公共団体が主体となって森林整備を進める	98	43.56%
広く情報を提供して、国民の幅広い参加や協力により、森林整備を進める	71	31.56%
現状のままで、できる範囲のことをすればよい	9	4.00%
分からない	1	0.44%
その他	7	3.11%
計	225	

Q16 地球温暖化防止対策として森林整備を進めていく費用の負担はどうあるべきだと思いますか。（複数回答可）

温室効果ガスを排出する割合に応じて企業や国民が負担する	62	21.09%
森林の恩恵は広く国民全体に及ぶことから、国民全体で負担する	74	25.17%
緑の募金などの自発的な拠出により負担する	37	12.59%
ボランティアなどの自発的な森林整備活動により負担する	21	7.14%
森林所有者が自ら負担する	24	8.16%
国産材製品の購入を増やすことにより、国民全体で間接的に負担する	51	17.35%
新たな負担を求めずに、できる範囲のことをすればよい	14	4.76%
分からない	3	1.02%
その他	8	2.72%
計	294	

Q17 今後、森林・林業行政に、特に何に力を入れて欲しいと望みますか。（複数回答可）

森林の整備	69	12.32%
森林整備のための補助制度の充実	40	7.14%
効率的な森林作業の実施方法の検討	37	6.61%
土砂崩れなどの災害を防ぐ施設の整備（治山事業・砂防事業など）	89	15.89%
原生的な森林や貴重な動植物の保護	35	6.25%
有害鳥獣（シカなど）の捕獲の推進	32	5.71%
木材の安定的な供給や木材利用の推進	38	6.79%
遊歩道やキャンプ場の整備などの森林とのふれあいの場の提供	44	7.86%
森林・林業・木材利用に関する教育の充実	21	3.75%
植樹や間伐体験、自然観察会などの市民向けイベントの開催	25	4.46%
ボランティア活動への支援など国民が森林づくりに参加しやすい仕組みの充実	29	5.18%
森林・林業に関する取組事例やNPOの活動などの情報発信	11	1.96%
人材育成（新規林業従事者、市民ボランティアに対する指導など）	28	5.00%
森林を守り育てている山村住民に対しての支援	42	7.50%
海外での植林への支援など森林・林業分野の国際協力	8	1.43%
特にない	0	0.00%
分からない	5	0.89%
その他	7	1.25%
計	560	

※集計は小数点第3位で四捨五入しているため数値の合計が100.00%にならないことがあります。

● Q 3

動物が生きていくのに必要な場所

● Q 5

森林の所有者が必ずしも森林の整備の方法を知っているわけではない。また、森林整備を頼むと現状かなりお金がかかるので、所有者に求めるばかりではやるべきことは進まないと思う。

森林は国土そのものである。所有者はそれを利用する範囲での権利者と心得るべき。利用せず放置するなら国に返すべき。国は山林の返却に無条件で応ずるべき。間違っても外国人に売却することを許すべきではない。早期の法制化を望む。

動物が生きていくため、自然のまま。

所有する森林整備を自治体へ有償で委託する

兎に角、枝打ちなどと、他の樹木への植え替えを促進しバランスの取れた森にする

戦後、杉檜が植林された森林は、所有者が都会に出た人が多く、所有者は、ぜひ所有する森林を見に行ってもらいたい。

所有者が維持管理をする、できる時代でもなくなっている。相続もムダになるばかり、売ろうにも安い。

外国人に売らないようにしてほしい。

太陽光発電開発の為に森林伐採が無いようにしてほしい

十分な管理ができないのなら、自治体に譲渡する。

● Q 6

整備は必須と思いますが、後継者不足が考えられます。後継者がいたとしても遠方なら整備も困難。所有者が整備できない場合の代行システムを安価で使いやすく導入することが望ましいと思う。

岡崎の所有財産との思いで、市が積極的に管理する

野性動物も安全に暮らせるように。

本来、所有者が整備すべきと思うが高齢等、所有者が整備できない場合は組合、NPO、ボランティアなどの整備が良いと思う。

放置林は所有者への義務付け。教育や家族向けへの利用がされている場合は、補助または行政負担。

自治体が有償にて整備受託する

● Q 7

災害防止の役割

市街地との調和を保つ整備を継続する

● Q 8

ボランティアに頼らず市の主導で進めてほしい

私有を止め、共有林または国有林にするのであれば、寄付をしたい。

クラウドファンディング

子どもでも安全なように、プロ付添のもと、ボランティア(兼学習的な協力)

専門家の教育活動

森林整備のためのクラウドファンディング設立支援

● Q 9

市が関わらないのなら、所有者に補助金なり十分な資金を提供する

事故があった場合、団体では荷が重いのではないかと。行政主導から始めるべきではないかと思う。

専門家の活動に任せる

● Q 10

間伐を主とした森林整備

所有する森林の手入れや見守り。
コロナの為、近隣の森にも、行ってない。
以前はツーリングで山の方が多かった。今はいけてないだけ
お城巡り

● Q 1 1

そもそも山の近くに住んでいるので、普段の生活に自然に存在する
例示のような活動ができる森林は少なく、こうした活動ができるような森林づくり(所有者が昔のように整備をする。)
80才に近い今、むつかしい。
グランピング

● Q 1 2

これ以上、自然を壊さないで欲しい。
学校や公園の遊具
専門家に任せる
アフリカなどでも木材を利用したアイテムの作成を行っているので、参考にする

● Q 1 3

利用目的に合ったものがあれば。
どこの木材でも構わない
ぜひ使いたいものの、高価では使えないのが難しいところ。市販レベルになるだろうか。
地元の木材を使った製品を知らない

● Q 1 4

木材の利用には、それなりに日時が必要なので、付け焼刃なことをしないこと
傷付いた野生動物や、殺処分対象の犬猫のシェルターに。
民間でも公共性の高い場所で、それを利用することで補助があれば導入しやすいのではないか。今後のメンテは自分で持ってもらえば。

● Q 1 5

誰がでは無く、国、地方、各団体、山主、が連携と役割を持ってそれにあたる
地球温暖化には関係しないと思うが、行政で企画・実行してほしい
森林を個人所有から共有・国有にしてからの話。樹木を伐採して太陽光発電など本末転倒の施策と考える。
そもそも、地球は温暖化していない。近年の周辺地域の高温はインド、中国からのフェーン現象によるもの
企業も巻き込んだ方が良いと思う
当方も県外に山林を所有しているが、体力・金銭的に自力で間伐や枝打ちをを行うことは困難な状況です。
すでに異常な気候であり、待った無しだと思う。できることは同時進行で連携して実施が良いと思う。

● Q 1 6

地球温暖化防止のためにはお金などかけなくてよい。
スマートシティ計画、ムーンショット計画、ブルービーム計画など、現実離れた政府の近未来都市構に当てる国の予算を減らして各市区町村の森林保全費用を負担
温室効果ガスを出す割合によって企業が負担する
森林環境税があるのでその範囲内でできることをすればよい。
先に書いたとおり、個人所有であるなら所有者が負担すべき。
温暖化を理由に誰か(国、自治体が儲かる仕組みになっている)
本来は、利益者負担であると思う。その上で足りないところを国の補助(国民の税金を入れるのが妥当ではないのかな。)

全くの放置林で、このままでは機能を果たさないならば、所有者への義務付けもやむなしかも。国土は限られているので。

● Q17

利用していない個人所有の権利を没収するか、整備不良で災害が起きた場合、所有者に罰則を与える法制化をすすめるべき。

森林所有者が自身で管理が困難と判断した場合は自治体へ寄託できるようにする

山林も所有者がいるわけでボランティアという発想はやめること。所有者をまとめ企画することを行政が指導する

山林で作業できる人が少なくなった。これからもっと少なくなるだろう。

森林は危険な事が伴うので安易にイベントなどやらないほうがいい

桜城橋のように地元木材の活用のいい事例がある。あの橋をバカにした中根市長じゃ何にもできないだろうけど、もっと広まれ！

山村住民の支援については、必要だが、農村特有の「まあまあ…」レベルの管理監督ならば不要。民間企業並みの厳しさで実施すべき。

☆アンケート回答にご協力いただいたみなさまへ

この度はアンケートにご協力いただきありがとうございました。

アンケートの内容については、今後の本市の森林・林業と生活に関する施策を検討する基礎資料として活用させていただきます。